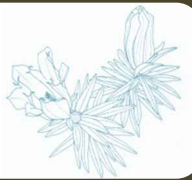


やくしまこくりつこうえん 屋久島国立公園だより

2022年9月号



かんきょうしょうやくしましぜんほごかんじむしょ やくしませかいいさん
発行：環境省屋久島自然保護官事務所（屋久島世界遺産センター内）
〒891-4311屋久島町安房2739-343 TEL:46-2992 FAX:46-2977



COOLBIZ

クールビズ



屋久島国立公園
Facebook

くちのえらぶの温泉

現在も新岳で活発な火山活動が続く口永良部島。火山の恵みとして4つの温泉が湧いています。屋久島の温泉は非火山性のアルカリ性ですが、口永良部島の温泉は火山性の酸性で、どのお湯も泉質や効能が異なります。

フェリーでおよそ90分、屋久島とは全く異なる泉質をもつ口永良部島の温泉で、その違いを肌で感じてみてください。

※台風被害や土砂災害を乗り越え島民によって大切に守られてきた温泉です。

利用する際は敬意をこめて大切に使いましょう。



◀本村温泉
港からすぐの場所にあり、地元の方が日常的に利用しています。源泉を沸かしているため適温。温泉に入りながら地元の人に島の情報を聞いてみましょう。



◀西之湯温泉
内湯(女性優先)と外湯(男性優先)があります。4つの温泉の中で最も熱く、お湯が冷めてくる17時以降がおすすめ。海のそばにたたく温泉は風情があります。



◀寝待温泉（現在利用できません）
口永良部島の名所、立神の近くにあり、いかにも「秘湯」といった雰囲気漂う温泉。昔から湯治場として多くの人に利用されてきました。



◀湯向温泉（現在利用できません）
湯向集落にある温泉。透明なお湯の中に湯の花がふんだんに舞っています。温泉の後は海まで散歩しながら集落の空気を感じてみてはいかがでしょうか。

～世界遺産センターホームページリニューアル！～

この度、屋久島世界遺産センターホームページをリニューアルし、9/1から公開しています。

リニューアルしたサイトは、世界遺産の紹介だけでなく、登山における諸注意やマナーの呼びかけ、登山道の情報などを充実させ、スマートフォンからも閲覧できるようにしました。

コロナ禍後を見据え、英語ページも増やし、特に登山における諸注意やマナー呼びかけ部分は英語だけではなく中国語（簡体字と繁体字）でも紹介しています。

屋久島の自然を楽しむ一助になればうれしいです。



屋久島世界遺産センターホームページ



～小学校の出前授業～

屋久島自然保護官事務所では、屋久島町内の小学校に出向いて屋久島の自然や屋久島国立公園、世界自然遺産についての授業を行っています。今年度の1学期は、八幡小学校3・4年生、栗生小学校3・4年生、神山小学校4年生の皆さんと授業を行いました。豊かな屋久島の自然について学び体感するとともに、自然を守る仕組みや取り組み、課題についても知り考える機会となりました。

屋久島には身近に素晴らしい自然があります。これからもこの貴重なフィールドを生かして、屋久島の自然に一層興味関心を持ってもらえるような授業に取り組んでいきます。

★教室授業の様子★



クイズで国立公園と世界遺産について楽しく学びました



エゾシカとヤクシカの頭骨標本を見くらべて大きさの違いに驚きました



野外授業で採集した貝殻の種類を判別して標本をつくりました



海岸での漂着ゴミ調査の結果から、どこから来たのか？どうすればなくなるか？を考えました

★野外授業の様子★



ビンゴゲームをしながら海岸の生き物を探しました



海岸に漂着したゴミを分類してどこからどんなものが流れてきたかを調査しました



浜に打ちあがった様々な種類の貝殻を採集しました



ウミガメの上陸産卵跡を観察しました

2学期は屋久島国立公園で世界自然遺産地域でもある西部地域に行って、森と生き物の関係を学びます！

出前授業のご依頼・お問合せは屋久島自然保護官事務所へお電話ください。

コラム 山の神祭りの日

年に3日、山で仕事をされる方が山に入らない日があるのをご存じですか？旧暦の1月、5月、9月の16日（地域によっては日数や期日は異なるようです）は「山の神祭りの日」とされ、山へは入らず、木は切らず、日頃の恩恵に感謝し、明日からの安全を祈願するという風習が屋久島には残っています。一説によると、この日は山の神様が木の数を数える日で、山へ入っていると山の神様に木と間違われて数えられ、山から帰って来られなくなるのだそうです。皆様の周りにも、山菜、木材、風景など山の神様から分けてもらったものはたくさんあると思います。せめて「山の神祭りの日」は山の神様への感謝と自然への畏敬を表す日にしたいものです。



小杉谷にある
大山祇(おおやまづみ)神社